

2020年7月号

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内
食品公害を追放し安全な食べ物を求める会
TEL&FAX: 078-822-0810 第2FAX: 078-842-2430
■URL・<http://www.motomerukai.com>
■Email: info.motomerukai@gmail.com

求める会ニュー入 No. 977

7月全体会を開催します 7月15日(水)午前10時 学生センターにて

新型コロナのため、求める会でも会の今後を決定するための3月全体会、5月の総会を開催することが出来ませんでした。ようやく少し落ち着いてきましたので、7月の全体会を開催することにいたします。

7月の全体会では、それまでの全体会で何度も話し合いを重ねてきた、会の来年度からの活動をどうするかについての具体案(1, 2, 3案)の一つを決定し、臨時総会で承認を得たいと思っています。(臨時総会の日時は今のところ未定です)

7月全体会での話し合いのために、3つの案の内容を、ここにもう一度確認しておきたいと思います。

<1案>求める会の所持金がなくなるまで現状を続ける。

<2案>共同購入はやめる。運動の部分のをこして活動を続ける。所持金と会の名前は引き継ぐ。

<3案>求める会の活動をすべてやめる。所持金も会の名前も後に残さない。

上記3案について今までに出た意見を、**良い点** **問題点**としてまとめると下記のとおりとなります。

1案 **良い点**・今までどおり共同購入と社会活動が続けられる。

問題点・代表、世話人をする人を選出するのが年々むずかしくなっている。
このあと引き受け手を続けて選出できるか。

・生産者にとってはいつまで続くか、先行きが決まらなくて不安。

2案 **良い点**・実績を積んできた求める会の名前を生かして、有機農業運動などの社会運動ができる。また相談を受けたり、情報交換ができる。

・生産者に期限を提示できる。

問題点・またいずれ閉めなければならない。

・安全な食べ物を注文、支払いを含めて、各自で入手方法を考えなければならない。

3案 **良い点**・誰にも分かりやすい。

・生産者に期限を提示できる。

問題点・安全な食べ物を注文、支払いを含めて、各自で入手方法を考えなければならない。

・会員同士のつながりがなくなり、社会的に意味のある活動ができなくなるのは、寂しいし、惜しい。

7月全体会は、会の方向を決定する大事な話し合いになります。多くの方の出席をお願いします。また当日は、コロナ感染予防のために3密を避け、マスクを着用して行います。よろしく願いいたします。

生産者の方がたはいま……コロナ禍下のようすをお尋ねしました -その2-

求める会ニュース5・6月合併号で掲載した「生産者の方がたのようす」でお知らせできなかった生産者の声が届きましたのでお知らせします。

市有研 橋本慎司さん

提携のおかげで出荷に影響ありません。飲食店中心に出荷している農家は大変そうですね。提携がなくなれば社会状況が直結しそうです。WWOOFERは途切れなく来ています。日本に滞在中の外国人も観光できずに行き場がないので農村に来るようです。

(注:WWOOFER=ウーファー。ファームステイする人のこと。世界的規模のシステムで、登録していると農業体験をしたい人や言葉を学びたい人、交流を持ちたい人などが連絡してくる。承認すると訪問してきて、一定期間研修する。橋本さんはWWOOFERに登録している)

卵 足立修さん

今も生産調整に追われております。今後は人々も次第に慣れていくとは考えます。自分の体は自分で守るのが基本ですが、社会全体で命を守ることの大切さを改めて思いました。「食」を通して免疫力のある健康な体をつくるのが、私のできる貢献と認識しております。

お米 池野創人(まさと)さん

提携の宅配と直売は、Stay Home で自炊と子供がいる関係で売り上げが増えました。

直売のメインは氷上 JA と神戸の「元町マ



ルシェ」で、神戸は毎週木曜日に出店しています。野菜、米、花、タケノコ、山菜など。マルシェは取りに来てくれるのでとれたてが渡せます。飲食店の取引が少しありますが、それはストップして解除になっても戻っていません。両親にとっては、孫に会えなかったことが一番寂しかったようです。

お米 橋本拓己さん

パンデミックという言葉は知っていた。年明けからの中国の騒ぎは対岸の火事だと思っていた。が、あれよあれよという間に身近に迫ってきた。それでも、兵庫県内で感染者がいくら増えても、それは阪神間の話、過疎地の但馬の百姓には関係ない。が、周囲には影響が出ていた。城崎をはじめとした観光がダメ、地場産業の鞆業界がダメ、人の移動がないと鞆も売れないらしい。

日々の百姓仕事は例年どおり続く。こんな時だから、百姓の意味を問い直す。有機で付加価値をつけるとか、その道で名を知られるようになるとか、ではなくもっと大切なこと。自給を基本とした百姓、自給の延長としての有機農業を進めていくこと。それが、ますます先の見えなくなった時代を生き続ける方法だとあらためて思う。

【お知らせ】

醤油の配送は第2週に変更

今まで醤油はお茶、油などと一緒に第3週に配送していましたが、「あしの会」の梱包の都合により、第2週に変更させていただきます。

お米の配送も、月により第3週になることがあります。

学習研究部より 先日、「いわきの初期被曝を追及するママの会」(ママベク)の千葉由美さんへ高木さんのお米 30 kgをお送りしたところ、お礼のメッセージが届きました。「お米が届きました。いつも支えていただき有難うございます。近日中に活動報告をお届けする予定です。くれぐれも皆様によろしくお伝えくださいますようお願いいたします」